宇都宮市立錦小学校　学校だより

にしきの子

◇学校教育目標・合言葉◇
「しっかり学ぶ」　「よりよく生かす」
「なかよく生きる」「元気でがんばる」
Ｒ２．８．２８　第１３号
錦小学校長　髙野　英司

カラーでご覧になりたい方は，錦小ＨＰ「学校だより」http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/まで
ＨＰでは，学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので，ぜひご覧ください。

靴箱をゆったりと使えるようにしました　～児童昇降口の靴箱～

学校では，新型コロナウイルス感染症の感染防止及びその拡大リスクを可能な限り低減した上での学校運営に日々取り組んでおります。そのような中，このたび，児童の靴置き場をゆったりと使用できるようにするための改善を図りました。

これまで登下校時等に児童が靴や上履きを出し入れする際の様子を見ておりますと，靴を入れるところが二人で一つのスペースを使用するようになっていたため，友達とぶつかったりするなど混雑，密集する状況が見られ，感染リスクがありました。

そこで，これまで掲示等で使用していたボードを撤去して使用していなかった靴入れの場所も使用できるようにし，各学級とも児童一人ずつの靴置きスペースとしました。

改善後，児童達は友達とぶつかることなく友達とソーシャル・ディスタンスをしっかりと取りながら，余裕をもって靴や上履きの出し入れができており，使い勝手が良くなるとともに，感染リスクを低減できるようになったのではないかと思います。

学校では，今後も児童たちのためにより良い環境づくりに取り組んでまいります。

「社会に開かれた教育課程」～錦小の教育１０～

☆今年度の重点目標について☆

教職員は，教育目標達成のために全力を挙げて職務を遂行するにあたり，今年度の重点目標を設定しています。今回は，（4）健康（体力・保健・食・安全）の重点目標を紹介します。

（4）健康（体力・保健・食・安全）

①　生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成するために，自らの健康面や体力面のよさや課題を把握し，自分に応じためあてを設定し，健康（体力・保健・食・安全）について進んで活動に取り組むことができる児童の育成を目指す。

②　運動に親しもうとする態度や能力のより一層の育成を目指し，児童の発達段階や実態に応じた運動量を確保した授業，休み時間を活用した運動イベントの企画等の工夫（スポーツ委員会主催等）により運動機会を創出することで運動の日常化を図る。

宇都宮市教育委員会で策定した宇都宮市学校健康教育推進計画（うつのみや元気っ子プロジェクト）では，目指す子供像として「心身ともに健康で安全な生活を送るための資質・能力を備え，自ら考え行動できるたくましい宮っ子」を設定しています。また，国の中央教育審議会答申，学習指導要領等でも，健康や食，安全に関する様々な課題に関心を持たせること，主体的に自他の健康で安全な生活や健全な食生活を実現しようとしたり，健康・安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度の育成を目指しておりますので，本校の健康教育におきましても，それらの趣旨を踏まえながら，たくましい児童の育成に努めてまいります。

おじゃまします！！教室訪問　～2の○～

第３回目は，２年○組です。担任は，Ｙ　先生です。国語の時間にお邪魔しました。

本時は，「名前を見てちょうだい」という教材文の１，２の場面を読んで，「主人公の様子や気持ちを読み取り，音読や動作で表現する」ことをねらいとして授業が行われました。

まず，先生は，前の時間の国語の授業内容を確かめた後，「今日の授業の課題は何ですか」と児童に問いました。すると，学級のほとんどの児童達が挙手をします。良い姿勢で真っ直ぐに手がぴんと挙がっており，指名された児童がはっきりとした声で本時の課題・めあてを発表できました。授業の課題・めあてをしっかりとつかみ，児童が見通しをもって授業に臨んでいるという，「主体的な学び」が実現できていることがよく分かりました。普段からの指導が児童にしっかりと身に付いていることを感じました。

それから，本時のめあてを先生が黒板に書き，児童はノートに書いていきます。児童が書いている様子を見てみると，姿勢よく丁寧に書くことができており，字形も整っている児童が多く見られます。また，めあての文章を聞き終わった後，どの児童も，定規を使ってきれいに枠で囲んでおり，見やすく分かりやすいノート指導がきちんと行われていることが分かりました。

次に先生は，大型テレビに教材文の１，２の場面を映し，赤い字で線を引きながら，「１，２の場面を小さな声で読んで，主人公のえっちゃんの様子や気持ちが分かるところにこのように線を引きましょう」と学習活動を分かりやすく説明しました。２年生という発達段階を考えての具体的な指導です。

児童達は，やるべきことをしっかりと意識し，意欲的に取り組んでいきます。先生も，児童達の学習活動の様子を見て回りながら，「皆，すごいね。しっかりと文章を読んでどんどん線を引けているね。」と称賛の言葉をかけていきます。

しばらく児童個人の活動の後，発表に入りました。児童からは，多くの挙手があり，進んで意見が発表されました。その中で，特に児童に考えさせたいところでは，児童の「ぼうしをぎゅっとかぶりました。」という発表をもとに，「ぼうしをかぶりました。」と「ぼうしをぎゅっとかぶりました。」は，どう違いがありますか？と先生が問い，文章表現の違いに焦点化し考えさせ，「えっちゃんのうれしい気持ちが分かります。」「帽子を大切にしたいという気持ちが分かります。」というような児童の発言が出てきて，主人公の気持ちを適切に想像することができていました。

発表の活動中には，「○○さんと似ているんだけど，○○という気持ちが分かりました」という児童の発言があり，先生は，すかさず，「友達の発言をよく聞いていたから分かるんですね。そういう友達の発言を受けての意見はとても良いですね」と児童の学習活動への取組と発言についてのよさを称揚できていました。

また，「はい。はい。はい。」と元気よく挙手をした児童は，「こら。ぼうし　まて。のところが，えっちゃんの帽子を大切にしている気持ちが分かります。」と元気に発言した後，「ぼくは，これが言いたかったんだ」とうれしそうにつぶやき，満足している様子が見られました。自分の考えを進んで発表する，児童が「主体的に学ぶ」姿勢には感心させられました。

そうした活動の後，先生は，多くの児童から出た意見を黒板にまとめていきました。黒板にまとめられたものは，この時間の授業の流れがよく分かるようによく構造的に整理されて，低学年児童が見やすく，分かりやすいものになっていました。

その後，主人公の気持ちを想像しながら，その様子について動作で表す活動に入りました。児童達は，赤白の運動帽子を用意し，教材文の読み取りをもとに進んで楽しみながら取り組みました。また，座席の列ごとに活動する側と友達の活動の様子を見る側とに分けて，お互いの動作のよさを見合う活動も行うなど，工夫が見られました。

Ｙ　先生は，道徳教育主任を務めるほかに，食育主任としても活躍しています。また，５，６年生担任，主任の経験も多く，児童の発達段階や実態に応じて適切な指導ができる教員です。Ｙ先生とともに，２年１組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け，より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。

※　読みやすさを考え，教員の呼称は，「教諭」ではなく，「先生」とさせていただきました。

※　地域・ホームページ用の学校便りでは，不特定多数の人の目に触れることもあるため，教職員の名前は，イニシャルにし，顔写真は，カットしております。ご了承ください。